

健康文化

## 白内障の手術

前越 久

車の運転ができる人の視力は0.7以上（眼鏡で矯正してでもよい）であることは運転免許証をお持ちの方ならご存知のことと思う。私は、裸眼で両眼とも0.7、眼鏡で矯正して1.2であるので問題はない。私は病気の間屋（本誌21号参照）を自認し、いくつかの大病を経験しているが、視力だけはそこそこ丈夫であり幸せを感じている。この視力が衰える原因の一つに白内障が上げられる。通常は、人間ドックなどで指摘されて知ることになるが、車の運転をする人は、道路標識の文字などが読みにくくなり気が付く場合がある。今回は、家内の話で恐縮であるが、最近、白内障の手術をして軽快したので、その経験談に基づいてご紹介させていただくことにした。

数年前から、右眼の視力が眼鏡で矯正しても0.3くらいに落ちてきた。眼鏡屋で検眼してもらったがこれ以上は良くなるまいとのことであつたので、思い切って市内の大病院の眼科を受診した。結果は予想通り白内障との診断であつた。緑内障ではなくてよかつたと安心しながら、しばらくは点眼薬をもらって通院していた。しかし、一向によくならなかつたため手術をすすめられたわけである。眼科を受診する60歳以上の患者の10人に7人が、程度の差はあるが白内障をもっているとのことで、六十ウン歳になった家内の友人達の間でもしばしば白内障が話題になっていたらしい。複数の友人が、偶然市内の同じ眼科専門病院で白内障の手術を受け、非常に良くなつたという話を聞きつけ、自分も受診する気になつたらしい。今年の3月に入ってからのことであつた。初めて訪れたところ、30～40人の患者さんが待合室を埋めていた。初診であつたので、今日は一日仕事になるかなと諦めていたらしいが、20分ほどで呼び出され、検眼・検診がてきぱきと進行し、1時間ほどで医師の診察まで終了してしまつたらしい。前記の大病院では、帰宅したのはいつも午後2時頃であつたので、その早さにびっくりしていた。3時間待つて3分診療などと大病院

に対して悪口が言われることがあるように、待ち時間の長いのは、患者にとっては耐えられない苦痛である。この眼科専門病院はまずこの最大の苦痛を排除するよう心配りがされているようであった。やはりこの病院でも手術をすすめられたので、6月10日に入院予約をして午前中に帰宅してきた。

3ヶ月後の手術予約は、白内障の患者が如何に多いかと言うことを意味しているのであろう。記録によると、全国で年間20万人の人が手術を受けているそうである。手術当日は付き添いが必要との指示があり、私が付き添うこととした。私は今日まで何度も入院を経験し、家内に付き添ってもらったので多くの借りがあり、今回はその借りの何%かを返す気持ちであった。

手術に先立ち、病院側から何種類かの説明書が手渡され、あらかじめ熟読しておくようにとのことであった。「白内障手術を受けられる方へ」「白内障について」「白内障手術・各種の方法について」「白内障手術・眼内レンズ移植術について」「入院診療計画書」「点眼薬、飲み薬及び塗り薬の種類と作用」等々である。インフォームドコンセントが重要視される今日、医師からの口頭の説明だけでなく、文字になった説明書は何度も読み返すことができるので効果的である。上記の資料もなかなか良くできており、将来、自分自身が白内障の手術を受けることがあるかもしれない、あるいは読者の方々の参考のためにとこれらの資料から主な事項のみを抽出して記述しておくことにしよう。

◇「入院診療計画書」に記載されている事項は次のとおりである。[担当医] 2名の氏名、[病名] 白内障、[治療計画] 午前中に心電図検査、血圧測定、まぶげの切除を行う。午後に手術を行う。[手術内容] 水晶体超音波乳化吸引、人工水晶体移植術、[術後安静] 手術後も院内歩行は可、[退院予定] 経過がよければ手術の当日、もしくは翌日でも退院可、など。

◇「白内障手術を受けられる方へ」の冊子に記載されている事項は、主として白内障手術についての解説である。すなわち、白内障手術とは、基本的には混濁した水晶体を取り除くことであること。袋（水晶体嚢）の中の濁った水晶体の核と皮質を超音波を使って細かく砕きながら吸引・除去した後、残った袋の中に眼内レンズ（コンタクトレンズと同じような材質の人工水晶体）を入れる。近視の強い人、糖尿病による網膜症の人、網膜剥離の危険性の高い人では眼内レンズを入れない場合もあるという。

眼内レンズは焦点が固定しているので、白内障手術を行うと、ある一定の距離にしかピントが合わなくなる。近くにピントが合う眼内レンズの場合は、遠くを見る時には眼鏡を必要とし、逆に、遠くにピントを合わせた眼内レンズを挿入した場合には、近くを見る時眼鏡を必要とすることになる。通常は、安全域を考えて、1 mから2 m先にピントが合うように眼内レンズを選択しているとのことである。

一方、健康な眼は、近くを見ていて急に遠くを見ても、その逆であっても毛様体が機能し、水晶体を膨らませたり薄くしたりして遠近のピント調節を即座に行い、鮮明な画像を見ることができる。人間の眼はこのように自動焦点調節機能を備えた本当にすばらしい精密器械であると、あらためて感心したところである。

午後1時15分頃、いよいよ看護師さんが「手術室へ行きましょう」と言って迎えに来た。病室は4人部屋で、81歳、83歳、62歳の女性と家内であった。まず、81歳の女性と家内が病室を出た。2人は同時に病室を出たのに、81歳の女性は13:45に手術を終えて帰室し、家内は、14:02の帰室であった。家内の方が15分ほど遅かったので、その間、手術が難しいのかななどと少し心配した。83歳の女性は、13:50に手術室に向かい、14:30に帰室した。いずれにしろ、どなたも片目だけの手術で、30～40分の手術時間であった。もう一人の62歳の女性は、すでに両眼の手術を終えた患者さんであった。両眼の手術を同時に行う方もおられるようだ。帰室後、すぐにマルトース・乳酸リンゲル液500 mlの点滴が始まった。家内は、眠り薬が良く効いているのかぐっすり寝込んでいた。点滴中、執刀医が様子を見に来られたが、家内はまったく知らなかった様子であった。また、手術中の状況を尋ねても麻酔によって全く知らない内に終わっていたようであるし、手術後の眼の痛みも殆ど感じていないようであった。夕方6時頃、夕食。もう、片目で歩行が可能のため付き添いは不要となり私は帰宅した。

翌日(6月11日)朝、視力検査などと主治医の診察があり、経過が順調とのことで無事退院することができた。手術した右眼はまだ出血のため白目部分が赤く染まっていた。しかし、手術前の視力検査では眼鏡で矯正してやっと0.3であったものが、裸眼で0.9に快復し、レンズを通すと1.2にもなっていた。

今までは、右眼は死んでおり、左眼ばかりで見ていたものが逆転してしまったと言っている。左眼の視力は、裸眼で0.3、眼鏡で矯正して0.7であるので当たり前である。帰宅して、昼食後に右眼の眼帯をはずし点眼薬を滴下するとき、たまたまテレビの画面を見て、「青色や白色がこんなに鮮やかな色に見えるとは！」と驚いていた。白内障の治療により視力が快復するばかりでなく、色感覚などもかなり変化するらしい。おそらく濁った水晶体がフィルタとなり、相当くすんで見えていたのであろう。同室の62歳の女性は、趣味で絵を描いていたらしいが、白内障の手術によって色の感覚が変わってしまったため、「色彩感覚を取り戻すまでしばらくの間、絵が描けなくなってしまった。」と言っていたらしい。また、「今まで部屋の中がこんなに汚れていたとは知らなかった。」とか、菜園を趣味としていた女性が、屋外の明るい陽の下で自分の腕などの素肌を見て「こんなにシミや皺が多いとは知らなかった、いやになっちゃった。」などなど、待合室では女性のにぎやかな会話を興味深く聞かせてもらうことができた。“白内障手術による功罪：見えすぎても良いことばかりでもないらしい？”などと言うとせっかく細かなハイテク技術を駆使して手術を成功させた眼科の先生に叱られるかもしれない。

6月12日、14日、17日、22日、29日、7月8日と通院して診察を受けた。朝、8時45分頃病院に着き、診察を終えて9時40分頃には帰宅することができる。私の家から10kmほどの都心の病院である。地下鉄でも便利な場所ではあるが、朝の通勤時間帯でもあるのでそれを避け、私の車で送り迎えしている。朝の診察は、入院患者を優先し、外来患者を合わせてやはり待合室には20～30人は待っているが、3～4名ほどの医師が早朝から診察し患者を待たせない対応が気持ちがいい。通院のほかは、3種類の点眼薬を朝、昼、午後、夕、寝る前と一日に5回、点眼することが指示されている。傷口の化膿止め、眼内の炎症を抑えるための点眼薬であると注意書きに記載されている。その他、術後2週間は洗顔したり、顔を下に向けての洗髪は禁止されている。眼にばい菌が入るのを防いでいるのであろう。手術後10日くらいで、白目の出血の後もきれいに治っていた。

手術をした右眼の裸眼の視力は良くなったが、従来の眼鏡をかけると返ってぼけるため、今まで使用していた眼鏡の再調整をする必要が生じた。主治医に、

手術一ヶ月後頃に調整するようと言われていたが、一ヶ月経ってもまだ安定していないらしく、眼鏡の調整を延期することになってしまった。この原稿に結果を書くことができないのは残念である。しかし、家内に「あなたの顔にこんなにシミが沢山あるとは思わなかった。」と言われてしまったので、以前よりよく見えるようになったことには間違いない。(平成16年7月20日記)

(名古屋大学名誉教授)